





Shoichi Otomo

株式会社GEOJACKASS 代表取締役社長 国立大学法人 静岡大学 特任准教授 国立大学法人 弘前大学 非常勤講師 慶應義塾大学 産業研究所 共同研究員 大友翔一



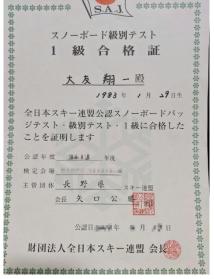
顔と名前を覚えてください



大きなデータの、お友達 ビッグデータの

大友です





地球上のすべての場所の位置情報が取得できます



自己紹介

株式会社GEOJACKASS 2016年02月設立 慶應大学(共同研究員),2014/04⁻現在 静岡大学(客員・特任准教授),2018/05⁻現在 弘前大学(非常勤講師),2021/09⁻現在

Geolacka

代表取締役社長 大友翔一

JAXA(C-SODA/ISAS), 2012/6~2014/3 SONY, 2016/8~2017/3 TEPCO, 2017/6~2018/11

著書

• [オープンデータ+QGIS] 統計・防災・環境情報がひと目でわかる地図の作り方",技術評論社(2014-11) 解説記事

- ホッピーの店の場所が一目瞭然で行きやすい! 地図とデータを用いて営業支援の武器を作った", 日経ビッグデータ2015年3月号
- ・ 食べ口グの口コミデータを分析、"二郎愛"の高い都道府県はどこ?", 日経ビッグデータ2015年4月号
- 「プロ野球国盗り地図」でファンの支持を可視化 ニュースアプリの6TBのログデータを分析", 日経ビッグデータ2017年1月号 **論文(査読あり)**
- 医薬品需要の効率的時系列クラスタリング―医薬品の需要予測に基づく,在庫量最適化と流通の非効率解消に向け―,日本OR学会,オペレーションズリサーチ機関誌 Vol64. No7,2019-07
- 日本における夜間光と各種統計指標との相関関係,地理情報システム学会,GIS 理論と応用,Vol. 29, No. 1, 2021-06
- 夜間光画像を用いた詳細な地域経済分析の可能性、情報処理学会、[特集]若手研究者、情報処理学会論文誌、vol63、No.3、2022-03
- 科学人工衛星データを用いたスポーツ施設の立地と体育教育の地域間格差に関する解析,宇宙航空研究開発機構研究開発報告,宇宙科学情報解析論文誌,第13号,2024-02-27

特許

• 特許番号6709483号, 出願番号 特願2019-184745

国際会議(招待講演)

- "Electric Load forecasting with machine Learning:Using Open Data for digitalization with TEPCO", SAS AX2017(US, Washington D.C)
- "Machine Learning Applications, TEPCO", SAS Energy Forum 2017(Spain, Madrid)
- "Solar Power Generation Forecasting With Machine Learning: The Way of TEPCO's Digitalization", SAS GLOBAL FORUM2018(US, Denver)
- "The Visualization for the mitigation plan against disaster", SAS AX2018(Milan, Italy)
- "The Digitalization against disaster" Esri GEOCONX2018(OMNI DALLAS, TEXAS, USA)

表彰

• 総務省異能ベーション2023 最終ノミニー













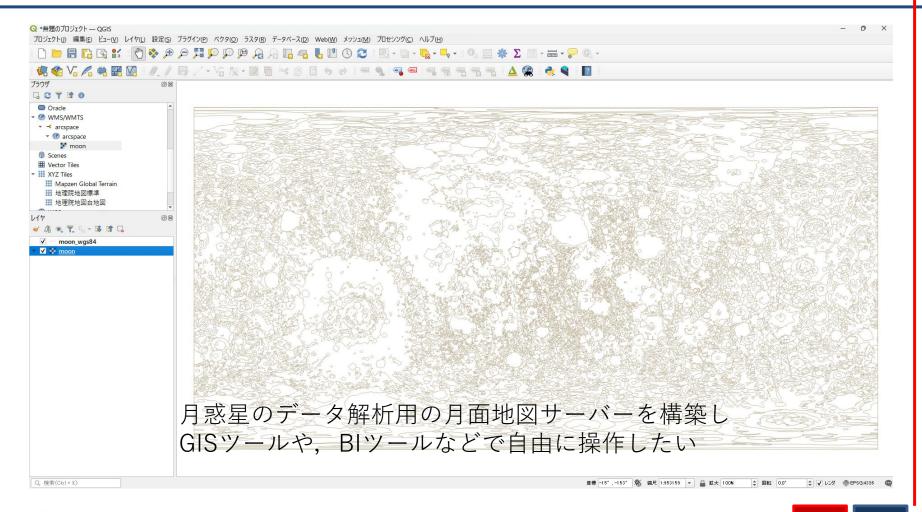
EOJACKASS, All Rights Reserved

AGENDA

- √データ解析支援ツールとしての月 惑星地図配信システムとは?
- √ 開発背景
- ✓ DockerHub & USAGE
- ✓今後の課題・応用的利用例
- ✓ まとめ

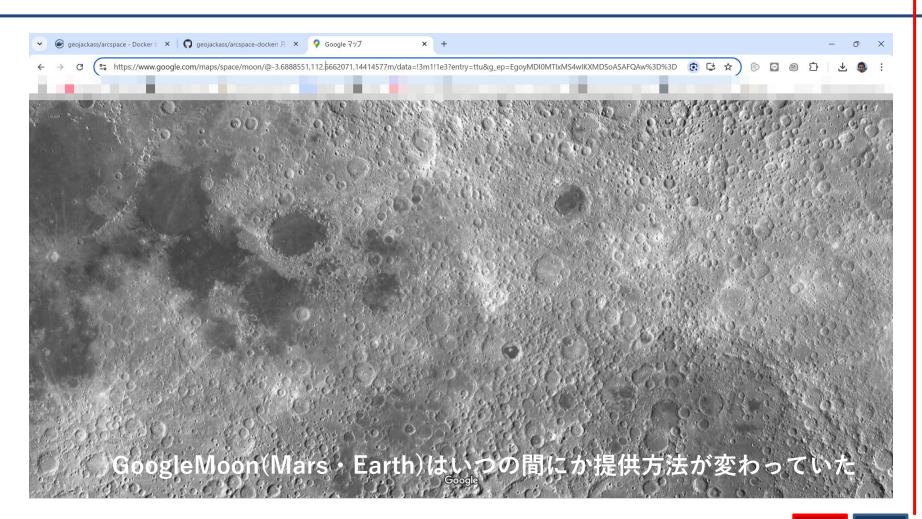


データ解析支援ツールとしての 月惑星地図配信システム





開発背景





開発背景

- GoogleMoon(Mars・Earth)がローカルではなく、フルブラウザで提供するようになり、何かと不便になった。
- ウェブ地図技術を用いた大規模惑星大気数値 シミュレーションデータの可視化

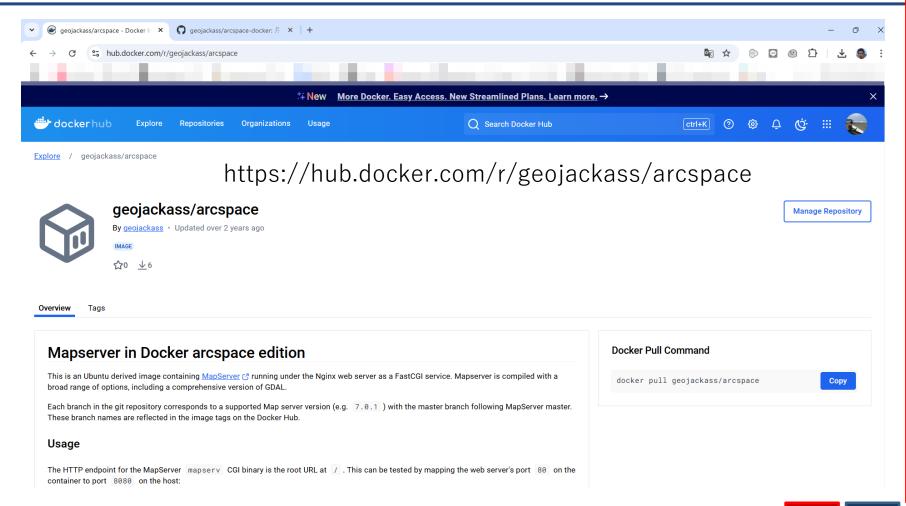
https://doi.org/10.20637/00047378

杉山らが行った宇宙科学情報解析シンポジウム(2019)の当該発表を拝聴し、ブラウザで大規模惑星大気数値シュミレーションを実装されていたようですが…サーバーサイドで計算した結果を表示する方が、高速かつ軽量に動作するのでは?と、率直に発表後に聞いてみたところ

「そもそも専門ではないので**地図配信サーバーを知らなかった**. そんな便利なものがあるならもっと早く知りたかった」

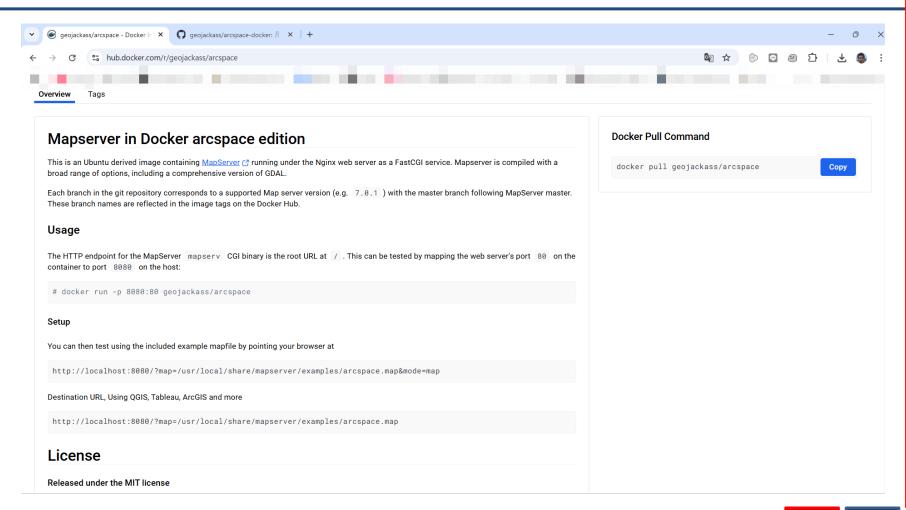


DockerHub





USAGE





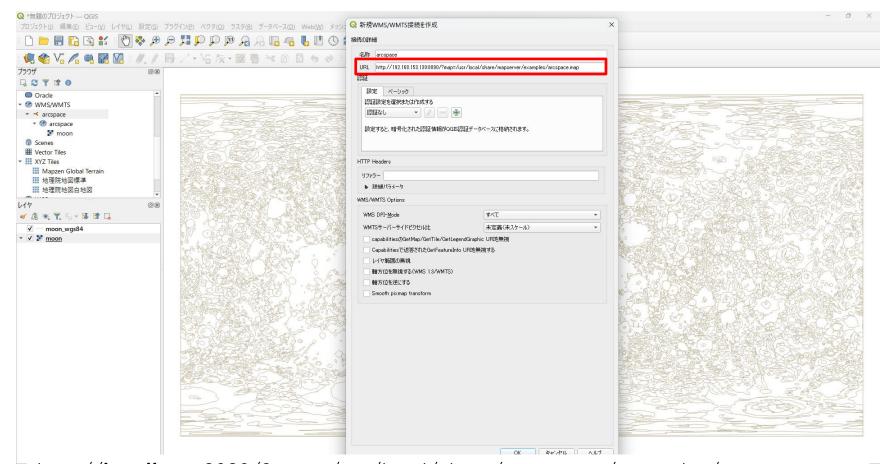
.mapfileの書き換え

```
WEB
 METADATA
 "wms title" "arcspace"
  "wms onlineresource" "http://localhost:8080/?map=/usr/local/share/mapserver/examples/arcspace.map&"
  "wms srs" "EPSG:4326"
 "ows_enable_request" "*" ローカルサーバーあるいはクラウドサーバーで実行する際には,
 END
                   この部分をIPアドレス直打ちにするか, URL(FQDN)に書き換える
 # IMAGEPATH "/ms4w/tmp/ms tmp/"
 # IMAGEURL "/ms tmp/"
FND
# データフォルダを相対パスで指定
SHAPEPATH "data"
FONTSET "fonts/fonts.list"
PROJECTION
 "init=epsg:4326" # WGS84
```



END

アクセス先URL



http://localhost:8080/?map=/usr/local/share/mapserver/examples/arcspace.map



AGENDA

- √データ解析支援ツールとしての月 惑星地図配信システムとは?
- √ 開発背景
- ✓ DockerHub & USAGE
- / 今後の課題・応用的利用例
- ✓ まとめ



今後の課題

- 現在は,便宜上地球座標系(WGS84, EPGS:4326)で表示しているが,座標系を 変更できないか?ツールによっては正しく 表示されないことがある.
- ラスター画像や、シュミレーション結果を 反映して表示する機能の実装を行いたい。



応用的利用例

月面地図配信システムをカスタマイズし、地球 地図表示を行い不動産予測に応用した事例



総務省異能ベーション2023最終ノミニー



ESP 1st prize



https://competition.nishika.com/competitions/mansion_2024winter/early-sharing-prize

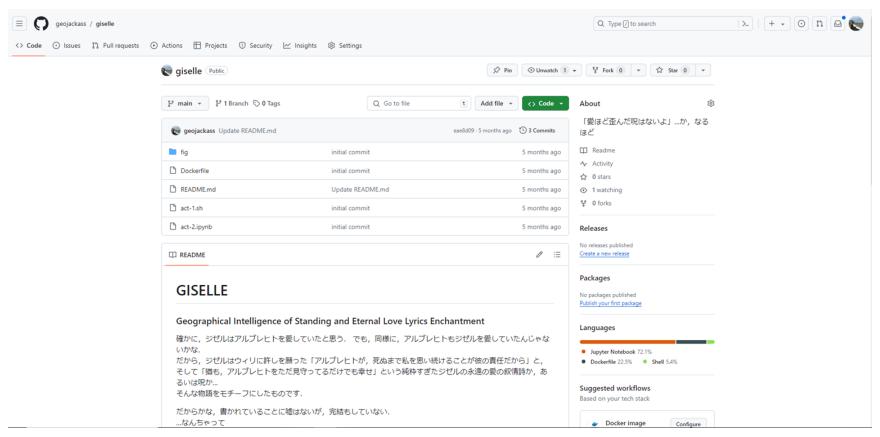


Final 12(shake down 1)





GISELLE(不動產価格予測AI)



https://github.com/geojackass/giselle



まとめ

- ●深宇宙探査や月惑星の解析用ツールは、そのままでは必要性を認識されにくい。
- ●一方で、基礎研究のようなもので、基礎研究なくしては応用研究が成立しない。
- 月面地図の機能実装を充実させることが、 地球地図の利便性向上につながるものであるというPR戦略が重要になっていく.



御清聴ありがとうございました



